

NETIS登録番号	技術名称	ケーブルネット・SK厚ネット工法			
QS-090035-A	副題	ケーブルネットまたは厚ネットを用いた落石予防工法			
分類1	付随施設	防護柵設置工	落石防止網設置工	金網及びロープ設置	
分類2	共通工	法面工	その他の公共機関	キーワード: 安全・安心・環境、公共工事の品質確保・向上	
開発目標	安全性の向上、品質の向上				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術	<input type="checkbox"/> 準推奨技術	<input type="checkbox"/> 活用促進技術	<input type="checkbox"/> 設計比較対象技術	
特許	<input checked="" type="checkbox"/> 有り (特許番号: 4054443号)			<input type="checkbox"/> なし	
技術賞、審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明				
問合せ先	会社名	神鋼建材工業株式会社 九州支店		TEL	092-431-8424
	住所	福岡市博多区博多駅中央街1番1号(新幹線博多ビル6F)		E-MAIL	h-miyoshi@shinkokenzai.co.jp
	担当者	三好			
実績件数 H25.8.28現在	国土交通省		その他の公共機関	民間等	
	6件		66件	4件	

技術概要:(300字以内)

何について何をする技術なのか?

ケーブルネットとは、斜面の広範囲に点在している浮石や転石の上から、ケーブルを細かく格子状に張設し、浮石や転石を斜面上で押さえ、斜面上での初期始動が起きないようにして落石を未然に防護する工法です。また、SK厚ネットとは、ケーブルネットと同様な工法ですが、厚ネットを併用するため小規模な落石を予防することができ、さらに厚ネット内に土等を堆積させることが可能であるため緑化を目的とする場合にも用いられる工法です。

どこに適用できるのか?

治山事業、急傾斜対策事業、道路災害事業、砂防事業および、落石の危険性がある斜面下に道路や民家・建築物等があり、被害が予想される場合の安全対策工事に適用できます。



ケーブルネット

● 製品特長

- 落石の発生を抑止
ワイヤロープを格子状に組み、主ケーブル同士の交点をアンカーで押さえることにより、浮石や転石の初期移動を抑止します。
- 優れたクリップ
ケーブル同士の交点を固定するクリップはケーブルを局部的にいためることなく(素線がキンクしにくい)締結することができます。
- 優れた施工性
部材が比較的軽量なため、急傾斜地での施工性に優れています。
- 自然に優しい工法
小規模伐採により施工が可能のため、地形変化が無く、自然の景観と環境を守ります。
- 豊富なメニュー
ケーブルサイズはφ12・φ14・φ16・φ18用の4種類があります。

● 新規性及び期待される効果

①どこに新規性があるのか?(従来技術と比較して何を改善したのか?)

- 主ケーブル同士の交点をアンカーに固定するクリップ(SKアンカークリップ)は、ケーブルを締結する構造として接触する面積を広くして固定するため局部的な痛みがない(素線がキンクしにくい)構造であり、しかも低いトルクで施工できます。
- 補助ケーブル同士の交点や補助ケーブルと主ケーブルの交点を固定するクリップ(SKクロスクリップ)は、ケーブルを締結する構造として接触する面積を広くして固定するため、局部的な痛みが発生しにくい(素線がキンクしにくい)構造です。
- 抑止工内に2m間隔でアンカーを打設することと、クリップの締結効果も含めて抑止効果が向上します。

②期待される効果は?(新技術活用のメリットは?)

- 抑止工内にアンカーを打設するため抑止力が向上します。
- SKアンカークリップのケーブルを固定する構造は、ケーブルの接触面積を広くして固定するため、局部的な痛みが発生しにくい構造となり、また経年変化によりケーブルが緩みにくい構造であり、落石の抑止効果を維持することができます。



SK厚ネット



施工から2カ月経過

● 主要構成部材



SKアンカークリップ



SKクロスクリップ



岩盤用セメントアンカー



羽根付パイプアンカー